

令和8年度 第1回赤磐市男女共同参画推進審議会 議事録(要約)

日 時	令和8年7月13日(月) 13:30～
場 所	赤磐市役所本庁 2階第1会議室
次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 委嘱状交付 4 自己紹介 5 会長および副会長の選出(会長就任あいさつ) 6 「赤磐市男女共同参画推進審議会」会議の申し合わせ事項について 7 議事 (1)第4次赤磐市男女共同参画基本計画の令和7年度実施状況について (2)その他 8 閉会
委 員	秋川委員 西山委員 遠藤委員 桑田委員 森田委員 塩谷委員 栗政委員 眞野委員 實盛委員(9名) ※順不同
事務局	市民生活部長、協働推進課長、事務局2名

1 開 会

2 市長あいさつ

3 委嘱状交付

4 自己紹介

5 会長および副会長の選出(会長就任あいさつ)

●会長に秋川委員 副会長に遠藤委員を選出。

●秋川会長あいさつ

6 「赤磐市男女共同参画推進審議会」会議の申し合わせ事項について

●署名委員の選任:西山委員、遠藤副会長

7 議 事

(1)第4次赤磐市男女共同参画基本計画の令和7年度実施状況について

●事務局より説明

委員より以下の意見があった。

●委員

評価が3(達成度が60%以下で不十分)の施策内容について、それぞれ理由はあるだろうが、何か委員に伝えることはあるか。もし、実施が不要であると考えるならば、その施策内容はやめることも一つの手だと思う。

●事務局

人権学習講座について、担当課より出前講座の要請が極めて少なくなっている現状であると聴取している。重点目標で女性リーダーの育成、人材育成支援を掲げているが、出前講座があったとしてもこの女性リーダーに特化したものができていないのが一つの理由。開催数なのか、出前講座の内容で評価するべきか判断が難しかった。次期計画ではあいまいな目標設定にならないようにしたい。

●委員

この人権学習講座の目標数値は人数か？

●事務局

人数である。笠岡小と人権教育研修会の計2回、延べ参加者数32人となっている。

●委員

全体の学校数・生徒児童数が減る中で、参加人数も減ってきているかもしれない。防災の箇所も気になった。

●事務局

職員に対する災害訓練等の機会が少なくなっている。やっていないわけではないが、新入職員向けに防災訓練は実施している。回数が少ないと考えており評価が3になった。

●委員

学校の出前講座が少ないということは何か理由はあるのか？

●事務局

PTAで利用があるが、そもそも認知されていない可能性がある。広報ができていない状況だった。認知度を上げるために、広報をしてもらうよう社会教育課に要請はしている。

●委員

人権学習講座についてPRが弱いのか、認知されていないと思う。県から出ている資料の方が、目に留まっている。「市の講座を利用しよう」というところまではまだ知られていない状況かと思う。

●事務局

担当課へ、目に留まる情報発信および魅力の部分で見てもらえるような発信ができるようお願いします。

●委員

お願いではなく、「やってください」というスタンスがいるのかもしれない。

●委員

学校は年度計画をつくり、持ち回りで実施をしている。全て満遍なく回れるように手配している。

●委員

人権研修について、PTAと学校がすり合わせて協議する。PTA向けにPRしていくことも必要。

P26の「防災士」について、学校では防災教室を実施している。くらし安全課と一緒に活動した。くらし安全課より地域の防災士の方を派遣予定だったが、その方は教室にはこられなかった。防災士の関わりを増やすため、学校に派遣するなどの協力は必要だと思う。

●委員

広報紙について、読んでいる年代に偏りがあると記載してあるが、見ている年代や何人ぐらいが読んでいるのか知りたい。

●事務局

広報紙は全戸配布していることから、全市民が見られるものとなっている。HPの閲覧数などをまとめているものはある。令和7年の状況については後日回答する。

●委員

LINEの加入率やダウンロード数が知りたい。

●事務局

確認し、後日回答する。

●委員

公民館にも公民館講座で人権や男女共同参画に関することを、学校と同じように持ち回りでやってもらうべきかと思う。また、P29の「地域自主防犯活動団体数」とはどういった団体なのか。

●事務局

公民館への要請について検討する。活動団体について、担当課に確認する。

●委員

数値の目標について、男女比の全てが5対5ではなく、場合によって男女比は考慮してもいいかと感じた。

●委員

基本的には5対5がいいと思う。国などの指標がある。男女の特性を考えてこれは6割、7割など考えていることはなく、半分半分で考えていると思う。

●委員

半分半方を説明するためのものがあれば、より理解が進んでいくと思う。

●委員

理想は半分半分。数値が低い箇所については、検討は必要かと思う。
コンプライアンス審査会は女性委員が0人であるが、どこの課が担っているのか。

●事務局

総務課が担っている。

●委員

そこに女性は入れるかと思うので、全て男性なのは少しまずいと思う。都市計画についても女性の意見があってもいい。

●事務局

推薦で委員を選んでいるが、女性の登用は可能。充て職もあるので、女性が推薦できないケースもある。各団体の代表、管理職の女性登用も進めていく必要がある。

●委員

充て職が男性の場合、その団体に、充て職ではなく、女性の代表を推薦するように依頼していくことが大切だと思う。

●委員

資料について、担当課によっては、ほとんど取り組んでいる文章が同じだった。課が目標を達成するにはどうしたらいいだろうか。老人会、社協など何らかの集まりの場はあるはずで、そこに出席講座などを周知していくことも必要。

●委員

庁内の推進本部会議でそこでどういった議論がされているのか。推進本部会議についての実施状況はどうだろうか。

●事務局

基本的には審議会の前に実施している。今年は年4回実施予定。評価について例年通りになってしまっているのは改善していく必要がある。その旨、先の推進本部会議で市長からも指摘があった。実施状況の記載を改善していく必要があるかと思う。

●委員

相談体制の充実について。電話相談などしている。人権擁護委員の数が減り、現状では相談の日が設定されていても、相談に来られる方が少なく、あまり活用されていない。

●委員

P19の「ファミリーサポート」の利用回数は上がっている。そうした中で提供会員は足りているのか？ どの自治体でも提供会員が少なく、依頼会員へのサポート体制は整っていないのではないかと思う。そのサポート体制を早急に整えていくべき。男女共同参画は幅が広いので、的を絞っていく必要がある。また、市職員の有給取得率が下がっている。市の職員が先導していくことが必要だと思う。

●委員

管理職の割合(%)について、全職員数を分母とした%ではなく、希望者に対しての%だと達成度は測れるのではないか。管理職を希望する人の中で男女差があるのはいけない気がする。

人権の啓発活動で研修会など、ピンポイントで声をかけて実施してもらうことが効果的かと思う。町内会の力を借りるのもいい。関心がある人に研修を実施するより、関心がない人に向けて実施できればいい。女性ばかりだと偏りがある。年配、男性が集まる町内会がいいと思う。若者は男女がお互いに助け合うことが普通という認識を持っているが、昭和世代は昔の考えが残っている。ワークショップなども効果的なので、引き続き検討していくべき。

●委員

ファミリーサポートについて、赤磐市では(依頼会員・提供会員の)登録されている人はどんな方が多いか。

●事務局

実際の割合は確認できていない。どのような要因で増えているのか担当課に聴取し、単純に需要が増えたことが考えられるとのこと。登録している人の内訳までは把握できていないことから、後日回答する。

(2)その他

●事務局より年間スケジュールについて確認

8 閉 会